

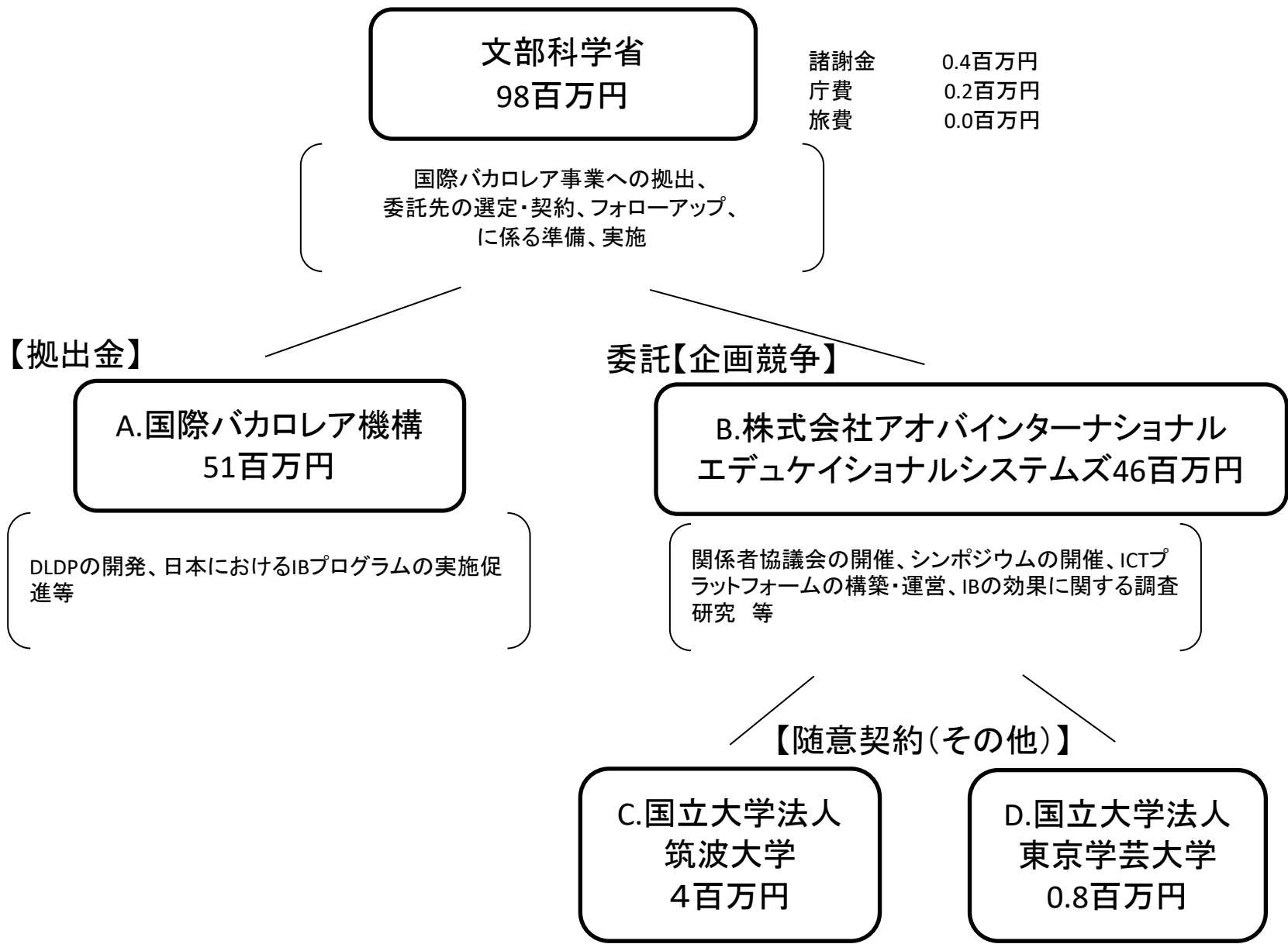
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	国際バカロレア事業への拠出			担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課		大臣官房国際課長 北山 浩士	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)(令和4年5月10日教育未来創造会議) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 (令和4年6月7日閣議決定) 国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議とりまとめ(令和5年3月28日)			
政策	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費			
施策	国際交流の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20201029-mxt_kaikesou02-000005259_13_01.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	平成 30 年度以降順次実施されている学習指導要領等では、予測困難な時代においても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する「生きる力」を育むことが目標とされており、また、「次期教育振興基本計画について(答申)」(令和5年3月8日中央教育審議会)においても、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成が、今後の教育政策の基本方針の1つとなっている。国際バカロレア(IB)は、課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラムであり、我が国におけるグローバル人材の育成に貢献するため、IBを実施する認定校やIBを履修する生徒等の増加を図る。							
現状・課題 (5行程度以内)	IBのプログラムのうち、高校段階のプログラムである「ディプロマ・プログラム(DP)」は原則として英語、フランス語、スペイン語で実施する必要があるが、IB機構との連携により一部科目を日本語で実施可能な「デュアルランゲージ・ディプロマ・プログラム(DLDP)」を開発・運用している。また、IBに関する国内関係者を糾合した文部科学省IB教育推進コンソーシアムを設立し、国内でのIB教育の普及を促進している。これまで、2022年度末までにIB認定校等を200校以上にするという目標を掲げて推進を行ってきたところ、2023年3月に認定校等が207校となり、目標は達成したものの、国内でのIBの認知度を一層高めるため、IB認定校の教育実践事例の発信等、一層の普及啓発活動を行うことが必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	IBの普及に係る取組を関係者間で検討し、1条校等でのIBの導入・運営に対する普及促進体制となるコンソーシアムを構築し、1条校等におけるIB導入・運営に係る支援を行う。また、IB機構との協力の下、DLDPの開発・導入等を行うことで、1条校におけるIBの普及を推進する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/22ec.html							
実施方法	直接実施、委託・請負、その他							
補助率等	-							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	110	110	110	110	110	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	110	110	110	110	110		
	執行額(G)		110	106	98			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	96%	89%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		100%	96%	89%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		国際交流・協力推進費		-			
		(目)	国際交流推進事業委託費	56				66
		(目)	ユネスコ事業等拠出金	53				43
		(目)	諸謝金、委員等旅費、庁費	1				1
			その他					
	計(A)		110	110				

活動内容① (アクティビティ)		IB機構と連携し、日本国内のDP生が一部科目について授業及び最終試験の受験を日本語で受けることを可能にする								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		DLDPを導入する学校の増加	DLDP認定校の数	活動実績	校	24	30	34	－	－
				当初見込み	校	－	－	－	35	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	DLDPを導入する学校が増えることで、探究スキル等を育成するIBの特色的なカリキュラムで学ぶ生徒数が増加し、最終試験の受験者数が増加する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		DLDP試験受験者数の増加	DLDP試験受験者数	成果実績	人	120	210	274	－	
				目標値	人	116	200	230	400	
				達成度	%	103.4	105	119.1	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		IB機構で把握しているDLDP試験受験者数								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	グローバル人材の育成に資するIBのカリキュラムで学び最終試験を受けた生徒数が増えることで、グローバル人材の受入れを進める大学が増える。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		IBを活用した大学入試を実施する国内 大学の増加	IBを活用した大学入試を実施 する国内大学の数	成果実績	都道府県	63	68	77	－	
				目標値	都道府県	－	－	－	100	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省IB教育推進コンソーシアムによる調査(令和4年12月実施)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		IBコンソーシアムを通じて、自治体や学校等へのきめ細やかな情報発信等の普及促進活動を行う									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		IBに関心のある学校等へノウハウを横展開すること	コンソーシアム事業におけるICTプラットフォームへのアクセス数	活動実績	回	20,141	29,420	44,081	－	－	
				当初見込み	回	34,902	30,000	30,000	35,000	－	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ICTプラットフォームの情報が常に最新となるよう更新し、アクセス数を増やすことで、プラットフォーム自体への信頼性や最近の更新情報についての関心が喚起され、その内容を継続的にお知らせするメルマガへの登録者数が増加する。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度		
		より多くの方へIBに関する情報を継続的に発信すること	IBコンソーシアムのメルマガ登録者数	成果実績	人	1,212	2,275	2,721	－		
				目標値	人	3,000	3,000	3,000	3,500		
				達成度	%	40.4	75.8	90.7	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省IB教育推進コンソーシアムによるデータの確認									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	メルマガで定期的にIBに関する情報を発信することで、登録者のIBについての興味・関心が継続的に喚起され、文部科学省で実施するIBに関するイベントへの関心が全国的に高まる。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		文部科学省が実施するIBに関するイベントに全都道府県から申込がある	文部科学省が実施するIBに関するイベントへの申込者の所属都道府県の数	成果実績	都道府県	－	－	33	－		
				目標値	都道府県	－	－	－	47		
				達成度	%	－	－	－	－		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省で実施するシンポジウムへの申込者の数									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	DLDPの開発等	47	人件費	事業スタッフの賃金	26
拠出金	日本におけるIBプログラム促進活動費等	4	事業費	諸謝金、雑役務費、通信運搬費等	11
			再委託費	筑波大学及び東京学芸大学への再委託費	4
			一般管理費	光熱費等	3
			消費税相当額		2
計		51	計		46
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
調査研究費	調査研究に係る人件費、事業費等	4	調査研究費	調査研究に係る人件費、事業費等	0.8
計		4	計		0.8

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

